

eALPS とは

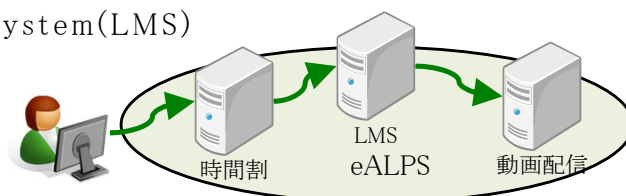
eALPSは

信州大学高等教育基盤（**e** Advanced **L**earning **P**latform **S**hinshu Univ.）の略称です。

eALPS は教育用プラットフォームで、以下のように

- ・学習支援システム Learning Management System(LMS)
- ・ポータルサイト: 時間割
- ・動画配信

から構成されています。



LMS

LMSは、授業資料掲載やアンケート調査、小テストなど、授業を支援するシステムです。

eALPS では Moodle というオープンソースの LMS を利用しています。

本マニュアルは、この LMS の使用方法を中心に説明します。

時間割

LMSには多数の授業が登録されています。そこで、授業に簡単にアクセスできるように、自分が担当・受講する授業が時間割として表示されるポータルシステムが用意されています。

eALPS では独自開発した時間割システムを使用しています。

動画配信

オンデマンドで受講する場合や授業資料が動画である場合には、動画配信サービスにより視聴することができます。

eALPS では独自開発した SHINtube をいうシステムを使用しています。

eALPS はプラットフォーム

eALPS は、上記のような学習を支援するシステムを簡単に使うことができるよう、学内のシステムとの連携を行うプラットフォーム機能を提供しています。

ACSUとの連携

信州大学は統合認証システムを導入しており、ポータルサイト ACSU からの様々な学内システムにアクセスできるようになっています。これはシングルサインオンと呼ばれています。

eALPS も、シングルサインオンに対応し、上記の支援システムにACSUからアクセスできるようになっています。

キャンパス情報システムとの連携

信州大学で開講される授業は、キャンパス情報システム内にあるシラバスシステムにより、開講情報や担当教員などが管理されています。また、履修登録システムにより、どの学生がどの授業を受講しているかなどが管理されています。

eALPS は、キャンパス情報システムとも連携し、自分が担当・受講する授業への登録が自動的に行われるようになっています。